



鳥栖中校区 小中一貫だより 第2号

鳥栖中・鳥栖小・鳥栖北小

令和7年12月24日

鳥栖中校区3校では、小中連携で、小中合同の研究を行っています。下記が研究テーマです。

研究テーマ 『心豊かで、たくましく、自ら学ぶ“とすっ子”の育成』

今年度、「学びつくり部」・「生活つくり部」・「仲間つくり部」・「特別支援教育部」の4部会を組織し、小中合同で研究を進めています。第2号では、4部会の取組についてお知らせいたします。

学びつくり部

鳥栖中学校の取組

今年度、鳥栖中学校の学びつくり部では、

- ①「ロイロノート」の効果的な活用を行う
- ②「ロイロノート」に関する活用事例のデータバンクを構築する
- ③小中相互の授業参観(ロイロノートの活用)で、効果的な手法や活用方法を共有する

を目標に取組を行っています。

夏季休業中の研修では、講師をお招きして、基礎的な「ロイロノート」の活用方法を教えていただきました。その後、各先生方でそれぞれ実践授業を行い、活用方法を共有しています。さらに、その後の反省を生かし、効果的な活用方法を模索しているところです。

鳥栖小学校の実践発表に参加

11月20日(木)に行われた、鳥栖小学校の校内研究での実践発表に鳥栖中学校の教員が2名参加しました。4年生と5年生での、ロイロノートのシンキングツールを活用した実践報告を聞き、小学校の先生方とシンキングツールの効果的な活用や指導方法についても情報共有ができました。小中学校9年間を通して継続的な指導ができるように努めて行きたいと思います。1月15日(木)には、鳥栖中学校でロイロノートを活用した研究授業(技術科)を行う予定です。

仲間つくり部

○「なくそいじめ」子ども会議 9月29日(月)

市内の4中学校校区の児童生徒が市役所に集まり、会議が行われました。鳥栖小学校、鳥栖北小学校、鳥栖中学校からも2名ずつの児童生徒が参加しました。各校の人権問題に関する取組を発表し、いじめ問題について意見交換をしました。各校の今後の取組に生かしていきたいと思います。



○小中合同あいさつ運動

登校時間に鳥栖中学校の生徒が出身小学校に行って、小中合同であいさつ運動を行いました。登校する児童に元気な声であいさつすると共に、あいさつの大切さを呼びかけました。いつもよりも大きい爽やかな「おはようございます！」

という声が響き、温かい時間となりました。

○人権標語の交換 各学校に掲示

各校で人権について学習した後、人権標語作りに取り組みました。作成した標語は、鳥栖小学校・鳥栖北小学校・鳥栖中学校の3校で共有し、廊下に掲示しています。近くの小学校の友達や自分が進む中学校の先輩が書いた「人を思いやる温かい言葉」に多くの子どもたちが足を止め、読む姿が見られました。

生活つくり部

9月の生活リズムアップ大作戦へのご協力ありがとうございました。中学校のテスト期間に合わせて1週間行いました。子どもたちは、いつも以上に時間を意識して生活や勉強をがんばったのではないでしょうか。ご家庭からのコメントには、「規則正しい生活ができた」「テレビやスマホを自分である程度コントロールできるようになった」等、生活をよりよくする機会となる前向きな内容が多かったです。また、「ゲームやスマホの時間を決めて行うようにしたい」「夜、早く寝ることに気をつけたい」など、自分の生活を見直すコメントも見られました。

学年が上がるにつれ、部活や習い事などで帰りが遅くなり、生活リズムが崩れることがあるかもしれません。「早寝・早起き・朝ご飯」の三つを生活のリズムづくりの基本として、大切にもらいたいです。冬休みは、生活リズムが乱れることもあるかと思いますが、スムーズに3学期が始まられるように、意識して生活してほしいと思います。

3学期も中学校のテスト期間に合わせて2/6(金)から、一週間生活リズムアップを行います。1、2学期よりもさらに改善できるように取り組んでいきたいと思います。



特別支援教育部

○「特別支援学級授業参観」

9月22日に鳥栖中学校で特別支援学級授業参観を行いました。鳥栖小学校と鳥栖北小学校の特別支援学級在籍の6年生児童と保護者が参加しました。鳥栖中学校の特別支援学級1、2年生「国語、英語、社会」の授業をそれぞれ参観しました。実際に中学生の教室や授業の様子を見ることで中学校生活のイメージがつかめ、進学のことについて検討する機会になりました。

○「鳥栖小学校授業参観」

10月27日に鳥栖小学校で特別支援学級(自閉症・情緒学級)の公開授業を行いました。6年生5名の自立活動「今日から俺は！」の授業でした。鳥栖小学校、鳥栖中学校、鳥栖北小学校の職員が参観し、他校の支援学級の様子を見ることができました。中学校進学に向けて自己理解を行う授業で、「なりたい自分」に向けて課題の改善策を考えるという内容でした。提示された授業の流れに沿って、落ち着いて学習に取り組みました。授業ではタブレットを活用し、児童は自分の考えをタブレットに入力して、授業の最後にそれぞれ発表することができました。今後も、小学校や中学校の教員がお互いの授業を参観することで、よりよい指導のあり方を考え、子どもたちの成長に結びつく教育活動を行うことができるようになります。

«3学期の予定»

1月・なかよし交流会

・小5を対象にした中学校特別支援学級説明会

2月・中学校進学に向けての情報交換会